

物価高対策を優先に

大阪市議会 井上議員が要求

日本共産党の井上浩大阪

求めました。

市議は12日の市議会財政総務委員会で、新年度予算案で3000億円を超過見込みの財政調整基金について取り上げ「基金を有効に活用しながら、苦しんでいる

大阪市の財政は、市税収入や交付税が増えてもなお收支不足となっているにもかかわらず、財政調整基金を積み増し続けています。

市民に届くような物価高対策と暮らしの応援、中小企業支援に重点を置いた予算運営をおこなうべきだ」と

井上氏は、5大政令市の基金残高を比較し「横浜市は500億円程度で、大阪市はその6倍もの基金を持っている。神戸市や京都市、名古屋市とはケタが違う」と強調。コロナ禍の時に基金をコロナ対策に大幅活用した東京都と比べて「大阪

者数は都を上回り、市独自のコロナ対策は貧弱に。本来の趣旨に照らして命と暮らしを守るためにこそ活用すべきだ」と主張しました。



質問する井上氏
12日、大阪市議会

市は積み増して2021年度末は2128億円。緊急時、非常時に使うべき基金を使っておらず、コロナ死